ナプロキセン 100mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に薄めた pH 6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 15 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 25mL とし，試料溶液とする．別にナプロキセン標準品を 105 で 3 時間乾燥し，その約 0.01g を精密に量り，薄めた pH 6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) に溶かし，正確に 100mL とする．この液 10mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 50mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 272nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．本品の 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする．

ナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

W_S : ナプロキセン標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) の表示量 (mg)

ナプロキセン標準品 ナプロキセン (日局) . ただし，乾燥したものを定量するとき，ナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) 99.0 % 以上を含むもの .

ナプロキセン 300mg カプセル

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) 900mL を用い、溶出試験法第 2 法(ただし、シンカーを用いる)により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 30 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 3mL を正確に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 50mL とし、試料溶液とする。別にナプロキセン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.01g を精密に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) に溶かし、正確に 100mL とする。この液 10mL を正確に量り、薄めた pH 6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 50mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 272nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 30 分間の溶出率が 80 % 以上のときは適合とする。

ナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 3000$$

W_S : ナプロキセン標準品の量 (mg)

C : 1 カプセル中のナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) の表示量 (mg)

ナプロキセン標準品 ナプロキセン(日局)。ただし、乾燥したものを定量するとき、ナプロキセン ($C_{14}H_{14}O_3$) 99.0 % 以上を含むもの。